

当財団主宰2019年度東京講演会へのご案内

1 2019年度 東京講演会について

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当財団の事業につきまして、ご理解とご協力を頂いており、厚く御礼申し上げます。

さて、当財団は、今年度も11月9日(土)に東京でメイヨークリニックのナースを迎えて、東京講演会を開催します。テーマは「2025年以降の超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と注目事例」です。

現在、2025年問題に対応するため、全国341地方医療圏で地域医療構想の具体化が進められていますが、地域ごとに人口構造が異なっており、その地域差も今後拡大していくことを考えると、地域の医療等の在り方は利用可能な資源を踏まえながら地域自身が考えることが重要です。

今回、石川ベンジャミン光一教授をお招きし、2025年以降も展望しつつ、今後地域はどう変わっていくのか、どのような課題に向き合っていくことになるのか、医療等の関係者はどう備えていくべきかについて、語って頂くこととなりました。石川教授は松田晋哉産業医科大学教授と共同でDPC等ビッグデータの分析手法の開発や医療経営への活用などをなさっており、それらについての専門家です。また、全国の様々な取組みの中から、東京都北区における訪問看護の取組み、福岡県遠賀郡における地域医療の取組み、そして非常に多くの方が悩んでいる排泄障害に関する専門的ケアについて語って頂くこととしております。

東京講演会は5つの講演とパネルディスカッションからなります(別紙「概要」)。

最初の講演は国際医療福祉大学医療マネジメント学科の石川ベンジャミン光一教授です。2025年に向かって地域は高齢化の進展に伴う医療需要の大きな変化に対応していかなければならないこと、また2040年あるいはそれ以降を見据えてはマンパワー不足等からくる諸問題を乗り越えながら長期的な対策を進めていくべきであることを、データに基づき語って頂く予定です。2番目の講演は、メイヨークリニックからです。これまで4回連続で紹介されているメイヨー・ヘルス・システムについて、今回も最新の情報が紹介されます。

3番目の講演は、平原優美 日本訪問看護財団事務局次長兼あすか山訪問看護ステーション統括所長です。平原氏は同訪問看護ステーションを拠点として看護実践・教育研修を含む活発な活動を展開するとともに東京都北区内の関係者と協働してネットワーク強化に取り組んでおり、その幅広く中身の濃い活動をうかがえます。

4番目の講演は、杉町圭蔵 遠賀中町医師会おんが病院・おかがき病院統括院長と同おんが病院の亀石千鶴看護部長によるお話です。杉町院長は九州大学で外科医として活躍され、退官後は永年赤字続きの2病院の再建に手腕を振るわれ極めて短い期間で再建した後、地域医療のため施設・設備の整備に力を注ぎ、地域の中核病院として両病院の強化を進めています。杉町院長と亀石看護部長からこれまでの取組みと今後の取組みについて語って頂きます。

5番目の講演は、日本赤十字社医療センター院長の本間之夫氏と金沢大学医薬保健研究域老年・リハビリテーション看護学分野助教の正源寺美穂氏の講演です。本間院長は排尿障害を治療の対象とすべきとして長年にわたり治療・ケアの確立に貢献されてきた斯界の第一人者であり、看護の重要性に深い理解を持っています。そうした取組みが看護界の要望と一体となって、2016年診療報酬改定における排尿自立指導料の保険収載に繋がりました。排尿自立支援に関わる治療やケアについて、看護への期待を込めて語って頂きます。また、正源寺氏は本間院長の講演を受けて排尿自立に導くチーム医療とアウトカムについてお話を頂きます。

パネルディスカッションは、石川教授の進行の下、ご自身も含めて7名の講演者で行われます。

2 日時及び場所

講演会 2019年（令和元年）11月9日（土）13時30分～17時15分  
東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 灘尾ホール 03-3580-0988  
パーティ 同上 17時45分～19時15分  
霞が関 3-2-5 霞が関ビル 35階 東海大学校友会館 03-3581-0121

3 ご案内

万障お繰り合わせの上、本講演会にお出で下さるよう、ご案内申し上げる次第です。  
なお、講演会は定員を400名としております。また、講演会、パーティとも無料となっております。

参加ご希望の方は、別紙「2019年度東京講演会等への参加のご意向について」にご記入頂き、FAX又はメール・郵送にて当財団までご連絡頂くようお願い申し上げます。

なお、複数人での参加を希望される場合は、参加される方の人数・氏名・ご所属・ご職位を併せてご連絡下さいますようお願い申し上げます。

以上

## 2019年度東京講演会の概要

日 時 2019年11月9日(土) 13:30～17:15(講演会) 17:45～19:15(パーティ)  
講演会会場 新霞が関ビル 全社協・灘尾ホール(定員400名)

	テーマ	「未来を拓く 看護の力」 －2025年以降の超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と注目事例－
	13:31 開会の辞(総合司会)	木村財団評議員
	挨拶	木村憲司 木村財団代表理事
	13:40 講演1	『超高齢社会における医療・看護・介護の在り方と看護への期待』 石川ベンジャミン光一氏 国際医療福祉大学医療マネジメント学科 教授
	14:16 講演2	Ms. Dawn E. Nelson, MSN, RN, Nurse Administrator- Education and Professional Development
	14:46 講演3	平原優美氏 日本訪問看護財団事務局次長 兼 同財団あすか山訪問看護ステーション統括所長
	15:16 休憩	
講演会	15:31 講演4	杉町圭蔵氏 遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院統括院長/九州大学名誉教授 亀石千鶴氏 同医師会おんが病院看護部長
	16:11 講演5	本間之夫氏 日本赤十字社医療センター院長 正源寺美穂氏 金沢大学医薬保健研究域老年・リハビリテーション看護学分野 助教
	16:51 パネルディスカッション	テーマ「超高齢社会における医療・看護・介護ニーズへの対応と看護への期待」 ファシリテーター 石川ベンジャミン光一 国際医療福祉大学医療マネジメント学科 教授 パネリスト1 Ms. Dawn E. Nelson, Mayo Clinic パネリスト2 平原優美 日本訪問看護財団事務局次長 兼 あすか山訪問看護ステーション統括所長 パネリスト3 杉町圭蔵 遠賀中間医師会おんが病院・おかがき病院統括所長/九州大学名誉教授 パネリスト4 亀石千鶴 同医師会おんが病院看護部長 パネリスト5 本間之夫 日本赤十字社医療センター院長 パネリスト6 正源寺美穂 金沢大学医薬保健研究域老年・リハビリテーション看護学分野 助教
	17:11 閉会の辞	木村財団理事・評議員
パーティ	17:45 主宰者挨拶	木村憲司 木村財団代表理事
	来賓挨拶	厚生労働省、公益社団法人日本看護協会、公益財団法人日本訪問看護財団、一般社団法人 全国訪問看護事業協会
	Mayo Clinic挨拶	来日予定4氏
	登壇者紹介	石川ベンジャミン光一氏、Ms. Dawn E. Nelson、平原優美氏、杉町圭蔵氏、亀石千鶴氏、本間之夫氏、正源寺美穂氏
	乾杯	木村財団理事・評議員
	歓談	
	閉会の辞(中締め)	木村財団理事・評議員

2019年度 東京講演会等への参加のご意向について

【ご本人の参加について】

○お名前 \_\_\_\_\_

○ご所属 \_\_\_\_\_ ○お役職 \_\_\_\_\_

○ご所属先所在地 〒 \_\_\_\_\_

○ご所属先電話番号 \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

○ご自身の電話番号(携帯) \_\_\_\_\_ E-mail \_\_\_\_\_

○2019年度東京講演会について現時点での参加意向をお教え下さい。

該当するものに○印をお願いします。(複数回答可)

( ) 講演会・パーティとも参加する

( ) 講演会のみ参加する

( ) パーティのみ参加する

( ) 予定が定かではない ⇒ ( ) 都合がつけば参加する ( ) 参加しない

( ) 参加は難しい

( ) その他【 \_\_\_\_\_ 】

【他の方の参加について】

○ご本人の他に参加される方がいらっしゃる場合、人数・お名前・ご所属・お役職をご記入下さい。

・講演会・パーティとも参加する ( ) 名

お名前・ご所属・お役職 \_\_\_\_\_

・講演会のみ参加する ( ) 名

お名前・ご所属・お役職 \_\_\_\_\_

連絡先 公益財団法人木村看護教育振興財団  
事務局課長 小村志津乃・中川玲子 主任 小川美生  
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 8階  
TEL03-5800-2700 FAX03-5800-0022 E-Mail kimura-info@nurseed.jp